

ございます。

光陰矢の如し、私が会長を拝命して早くも五年経ちました。この間、私は一貫して「同窓会の活性化」を叫んできました。しかし、その課題解決の行動は未だ基礎段階に止まった状態です。今後とも、引き続き皆さんにご理解とご支援・ご協力を乞わなければなりません。

間もなく平成の時代が終わり、この会誌が皆様のお手元に届く頃は新しい元号に代わっていることでしょう。人は誰でもこのような節目に何か新しいことを考えるものです。同窓会もこの節目を機会に一新したく存じます。

同窓会は、「男性中心」、「高齢者中心」、「教職員中心」から即脱皮しなければなりません。その具体的な行動の一つとして昨年暮れ、全国五十支部の代表を青森にお招きして女性参加促進のための会合をもちました。そこでは、同窓会活性化に必要な様々な意見交換ができました。しかし、私は意見交換ができたことで満足してはいません。そこで頂戴した貴重なご意見を実行に移さなければならぬからです。この難儀な行動を乗り越えてこそ活性化に繋がるものと承知しています。

翻って、母校の急速な発展を見たとき、驚きと同時に喜びを禁じ得ません。瞬く間に、世界に誇る「身体にまつわるスポーツの総合大学」に

成りました。そのリーダー役を担う松浪健四郎理事長がある時、「私は、ほら吹き松浪といわれている」と、私たちに話してくれたことを思い出します。それは、まさに「有言実行」の意味であったのです。したがって、標題の「言うは易く行うは難し」は、松浪理事長には当てはまらない諺です。私たちも、参加したいと思っいる多くの仲間を誘えるよう頑張って行こうではありませんか。  
静岡県同窓会の益々のご発展並びに会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

### 同窓会との繋がり



静岡県保護者会会長  
加藤 厚

日本体育大学静岡県同窓会の皆様には日頃より私共静岡県保護者会の活動に対しましてご理解、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本年度の静岡県保護者会は二二三名の学生とその保護者により組織され、例年通りに「通常総会」の開催と「富士山女子駅伝」「箱根駅伝」の応援をメインの事業に活動してまいりました。

「通常総会」においては、新しく日本体育大学に入学した新入生の保護者が数多く出席され、大学よりお招きした教授や学生生活支援の職員



から大学生活の様子を伺い、非常に安心された様子でした。

「富士山女子駅伝」には県東部の保護者が駆け付け、第四中継所、ゴールの富士総合運動公園にて八位に入賞した日体大を大学関係者、同窓会の皆様と精一杯の応援をいたしました。

「箱根駅伝」では静岡県出身者の出場もあり、県内各地より大勢の保護者が大学応援団を中心とした華やかな応援に参加することができました。今年度の結果は、残念ながら来年の「シード権」を獲得することはできませんでしたが、帰りの車中では「来年は予選会からの応援だね」と例年以上に盛り上がり、「必ず来

年も箱根で応援」を誓い合いました。一月に同窓会の主催で開催して頂きました「就職対策研修会」は、私たち保護者にとりまして誠にありがたい事業であり、当日は教職員希望、公務員希望、一般企業希望ときめ細かい指導をして頂きました。来年度以降の「総会」等において保護者にごこの「就職対策研修会」を積極的にPRすべきであると感じました。

本年度も同窓会の皆様には大変お世話になりました。来年度以降も保護者会は同窓会と連携し日本体育大学と日体大生を応援して行きたいと思っております。引き続きのご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

